

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-87	小学校	社会	社会	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 305	新編 新しい社会 3		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示される教育の目標の達成と、学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」の基礎を育成することを目指し、以下の3点を柱として編修しました。

特色 ①

**資質・能力を
確かに育てる
教科書**

- ・学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」を確かに育てます。
- ・「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。
- ・「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

特色 ②

**子供の
学びを広げる
教科書**

- ・多様な QR コンテンツを収載し、子供の学びを広げます。
- ・学習に効果的な写真や挿絵などの資料を豊富に掲載しています。
- ・実社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

特色 ③

**授業づくりを
サポートする
教科書**

- ・教科書の構造や問題解決的な学習の流れをわかりやすく示し、授業づくりをサポートします。
- ・重要な用語や資料を明確に示し、学習の基礎・基本が定着します。
- ・学習内容だけでなく学習方法についても丁寧に示しています。

特色 ①

**資質・能力を確かに育てる
教科書**

① 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。

学習指導要領の教科目標には、「課題を追究したり解決したりする活動」と明記されており、問題解決的な学習が重視されています。

単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを基本とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階をわかりやすく明示しました。

↓ 小単元の本時の「めあて」と学習段階の例

つかむ

事故や事件の現場の様子
の写真やグラフなどを見て
気づいたことを話し合い、
学習問題をつくみましょう。

← p.104

しらべる

なぜ、事故が起きたときに、
さまざまな人がすぐに関与する
ことができるのでしょうか。

← p.106

まとめる

調べたことをもとに、
事故や事件から暮らしを守る
ためにはたらきについて
まとめましょう。

← p.112

いかす

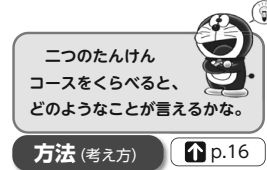
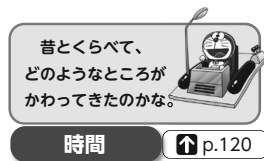
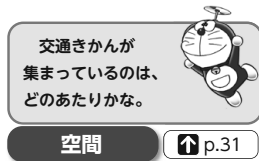
わたしたちの暮らしを守る
ために、自分たちにできることを
考えてみましょう。

← p.114

②「見方・考え方」を働かせた学習ができます。

学習指導要領の教科目標には、「社会的な見方・考え方を働かせる」ことが明記されています。

見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）で挿絵を変えて、どのような視点や方法かわかるようにしており、「見方・考え方」を働かせて学習ができるようにしています。



③「まなびのポイント」で「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を示しています。

学習段階に応じた学習活動を例示し、「主体的・対話的で深い学び」につながります。

各見開きに、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」として例示しました。「つかむ」段階には「主体的」な学習活動、「調べる」段階には「対話的」な学習活動、「まとめる」段階には「(深く)考える」学習活動を中心にそれぞれ例示することで、小単元を通して「主体的・対話的で深い学び」につながるようにしています。

まなびのポイント

●あまおうづくりについて、知りたいことを出し合おう。

●学習問題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

p.44

まなびのポイント

●これまでの学習をもとに話し合い、学習問題についてまとめよう。

●これまでの学習を生かして、あまおうをせんでんするキャッチコピーを考えよう。

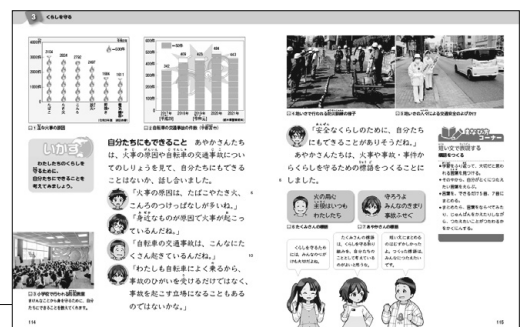
p.52

④社会的な事柄に参画・提案する場面（学習段階「いかす」）を設けています。

学習指導要領の「内容の取扱い」に、「選択・判断」と示されている箇所を中心に、学習段階「いかす」を設けています。

学習指導要領では、「地域の安全を守る働き」は「自分たちにもできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」とされています。教科書では、「いかす」の学習段階で、火災と事故の学習を振り返って自分たちにもできることを考え、標語をつくる場面を掲載しました。第3学年全体では、学習段階「いかす」を4箇所設けています。

p.114-115 自分たちにもできること



特色 2

子供の学びを広げる教科書

①多様なQRコンテンツで子供の学びを広げます。

学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できる多様なQRコンテンツを掲載しています。

第3学年でQRコンテンツを40点以上収録し、該当ページに二次元コードを配置しました。教科書の該当箇所から二次元コードを読み取ることで、導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。



p.41

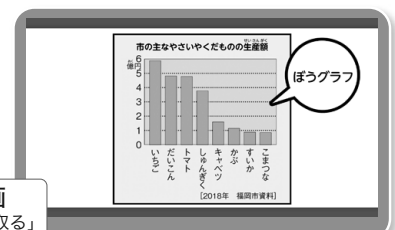
拡大

●学習のはじめに見てみよう



導入動画 p.41 「学習のはじめに見てみよう (はたらく人とわたしたちの暮らし)」

まなび方の解説動画 p.43 「ぼうグラフを読み取る」



② 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

様々な仕事や社会的活動にかかわる人々を取り上げています。

様々な仕事に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。第3学年では、19人を掲載しています。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

③ 「まとめる」場面では多様な表現活動を提示しています。

調べたことをもとに考え、表現する力を育てます。

思考力や表現力を高めることができるように、「まとめる」段階では多様な表現活動を提示しました。

あまおう農家の久保さんの話

家族で、手間をかけて、あまおうを大切に育てています。
あまおうづくりは作業のおくれがゆるぎません。しっかりと計画を立てて、早めに作業を進めることが大切です。とくに、3月から4月は同時にたくさん作業をするので、おくれないうち、注意がひつきます。

西区のあたりは、日当たりがよく、水はけのよい土地が広がっています。冬でもひかくてきたたかく、あまおうをつくるのにできています。

↑ p.46

交番の田谷さんの話

交番の前でけいこ(立番)をしたり、パトロールをしたりして、ふだんから、地いきの様子を気をつけて見るようにしています。地いきで事故や事件が起きたときには、すぐに現場につけます。

安全な生活を守るためには、みなさんの協力もかせません。たとえば、交通事故をへらすためには、道路交通法などの法やきまりを守ることで大切です。道路を歩くときや自転車に乗るときには、信号やひょうしきをきちんと守ることなどを、一人ひとりに心がけてほしいです。

↑ p.109



↑ p.132-133 市のうつりかわりをまとめてみよう



↑ p.83 スーパーマーケット新聞

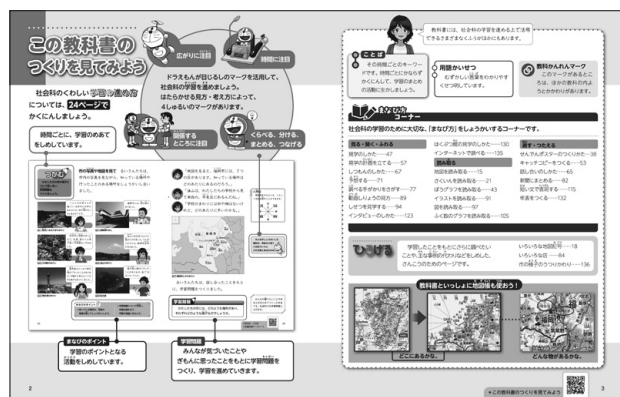
特色 3

授業づくりをサポートする教科書

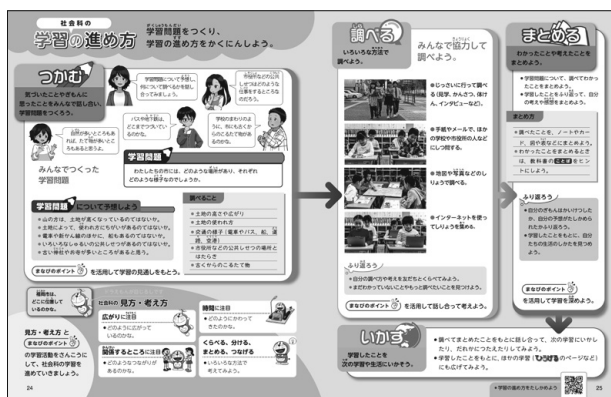
① 教師の授業づくりを様々なツールでサポートします。

授業づくりをサポートする紙面や要素を充実させています。

教科書紙面の基本的な構造を示した p.2-3「この教科書のつくりを見てみよう」や、問題解決的な学習の流れを示した p.24-25「学習の進め方」は、日々の授業づくりにも役立ちます。



↑ p.2-3 この教科書のつくりを見てみよう



↑ p.24-25 学習の進め方

まなび方コーナー

どうが動画しりょうの見方
動画を見て学習に生かす

- 動画しりょうを通して見て、どのような内ようのかかしくする。
- もう一度動画しりょうを見る。大事なじょうほうだと思ふところ、一時でいして、ぎもんに思ふことや調べてみたいことをメモしながら見るとよい。

学習の技能や方法を示した「まなび方コーナー」は、学習の技能を習得したり、思考力や表現力を伸ばしたりすることにつながります。

↑ p.89 動画しりょうの見方

見開きのキーワードとして示し、学習のまとめで活用できる「ことば」は、基礎・基本の定着につながります。

ことば

公共しせつ 学校や市役所、じどう館や公園など、みんなのためにつくられたたて物や場所を公共しせつといいます。公共しせつは、みんなが使う場所なので、大切にしようするひつようがあります。

↑ p.13

ことば

法やきまり たとえば、交通にかかわる法やきまりは、安心して毎日を送るためにひつようなものの一つです。より安全な生活のために、法やきまりをみんなで考え、大切にしたいうふ努力がかかせません。

↑ p.109

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
生活科で学んだこと／3年生で学ぶこと	・生活科の既習事項を振り返り、第3学年の学習内容を提示することで、これから始まる社会科学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号)	p.4-5
1 わたしのまち みんなのまち ・学校のまわり 1 市の様子	・市の地形や土地利用など、市の様子を学習するなかで、自然環境の保全が地域社会の発展につながることに気づけるようにしました。(第4号)	p.20-39
	・自分たちの住む市内に古くから残る建造物を数多く取り上げることで、伝統と文化を尊重し、地域への愛着を深めることができるようにしました。(第5号)	p.34-35
2 はたらく人とわたしたちの暮らし 選択 1 農家の仕事 1 工場の仕事 2 店ではたらく人	・農家の人、工場で働く人、スーパーマーケットで働く人など、実際に取材した「〇〇さんの話」を多数掲載し、勤労及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号)	p.40-87
	・産地調べの学習では、外国からくる品物について取り上げるなかで国旗について扱い、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第5号)	p.76-77
	・スーパーマーケットのリサイクルコーナーなど、資源の有効利用や再利用の大切さを考え、実践する態度や意欲を育む教材を取り上げました。(第4号)	p.80-81
3 暮らしを守る 1 火事から暮らしを守る 2 事故や事件から暮らしを守る	・消防署や警察署で働く人たちが、地域の人々と協力して、地域の安全を守っていることを学習することを通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることについて気付くことができるようにしました。(第3号)	p.88-115
	・地域の安全を守ることにに関して、自分たちにできることを話し合い、標語を作成することで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p.114-115
4 市のうつりかわり 1 市の様子と人々の暮らしのうつりかわり	・単元の最後に、自分たちの市の将来について考える「いかす」場面を設定することで、社会に参画する態度を養ったり、地域への愛着を深めたりすることができるようにしました。(第1号、第5号)	p.134-135
	・学年の最後に「3年生で学んだことをふり返ろう」を見開きで掲載し、一人ひとりが第3学年での学習内容や学習方法を振り返ることができるようにしました。(第2号)	p.138-139

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

01 すべての児童にとって使いやすくわかりやすい教科書

- ① **特別支援教育への配慮** すべての児童にとって使いやすくわかりやすいデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン	色覚の多様性に配慮	ユニバーサルデザイン フォントの使用
・本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウトし、児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つようにしています。	・図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮しています。カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、専門家による検証を行っています。	・教科書の一部にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、可読性を高めています。

- ② **人権上の配慮** ・児童キャラクター（男性3人、女性3人）やイラストに描かれる人物、「〇〇さんの話」などが、性別による偏りがないようにしました。また、大型イラストでは、人物の多様性にも配慮しました。

③ 造本の工夫（判型、書体、用紙等）

判型・造本

- ・判型は資料性、視覚的効果が高い幅広の判型を使用。
- ・児童が長期にわたって毎日使用することをふまえ、特に堅牢な針金綴じで製本。
- ・ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮。

書体

- ・教科書本文は、書き文字に近い教科書体を使用。

用紙・印刷

- ・用紙は、軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- ・鮮明な挿絵、写真等の印刷で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りが可能。

02 今日的な課題への取り組み

① 教育の ICT 化への対応

- ・二次元コードを教科書の該当ページに配置し、学習場面に応じた動画やワークシート、クイズなどの多様なコンテンツを用意しました。
- ・各小単元の「つかむ」段階には「学習計画ワークシート」を、「まとめる」段階には「まとめるワークシート」を QR コンテンツとして掲載し、問題解決的な学習が定着するようにしています。
- ・1人1台端末環境の実現に伴い、二次元コードからリンクする QR コンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」を設けています。様々な場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができます。
- ・タブレット端末を活用した見学場面やまとめる場面など、端末を活用した場면을紙面に取り入れています。
- ・学習者用デジタル教科書では、資料の拡大や書き込みなど、様々な機能を活用した学習が可能です。

② 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

- ・「教科関連マーク」 (教科名) を配置し、関連する他教科の学習内容を示すようにしました。

- 例
- ・理科 「方位じしんの使い方」(p.11)
 - ・算数 「ばうグラフの読み取り方」(p.43)
 - ・外国語 「世界のさまざまな国と国旗」(p.77)

③ 教員支援

- ・「この教科書のつくりを見てみよう」[p.2-3](#) や「学習の進め方」[p.24-25](#) は、児童の理解だけでなく、教師の授業づくりのサポートにもつながります。
- ・教師用指導書には、「板書例」や「発問例」を載せ、「評価」に関する内容も充実しています。また、小单元ごとの「知識の構造図」を載せ、授業に際して活用できるようにしています。
- ・教師用指導書には、「複式年間指導計画」を掲載しています。

④ 感染症への対応

- ・二次元コードからリンクする QR コンテンツに、基本的な感染症予防についてまとめた「うつらない うつさないために」を設けています。

⑤ SDGs への対応

- ・持続可能な開発目標 (SDGs) について、映像などをもとに学ぶことができる特設サイトとして「SDGs わたしたちがつくる未来」を設けています。

⑥ 国旗の取り扱い

- ・「品物はどこから」の絵地図に国旗を示し、用語解説で国旗のもつ意義について説明しています。[p.77](#)

⑦ 道徳教育との関連

- ・社会科の教科特性に応じて道徳性を養うことができるよう、人間尊重や公共の精神、生命や自然への畏敬の念を育む教材を適所に取り上げました。[p.100-101](#)

⑧ 防災、安全教育への対応

- ・「くらしを守る」単元で火災と事故や事件について扱う中で、「生活安全」「交通安全」について理解できるようにしました。

⑨ 国際理解・グローバル教育への取り組み

- ・農家でつくられているいちごが海外でも売られていること、工場の原料が外国からきていること、スーパーマーケットには外国から運ばれてきている品物があることを取り上げ、外国と自分たちの生活とのつながりを考えることができるようにしました。[p.51](#) [p.58](#) [p.76-77](#)

03 そのほかの取り組み

① 地図帳の活用

- ・地図帳が第3学年から使用されることを受け、地図帳の索引の使い方の「まなび方コーナー」や、地図帳で確認する作業指示を設けました。

② 家庭学習への対応

- ・応用、発展の位置付けの「ひろげる」や二次元コードからリンクする QR コンテンツは、家庭学習でも活用することができます。

③ 生活科との連携

- ・「生活科で学んだこと」を掲載し、既習事項を振り返ることができるようにしました。[p.4-5](#)
- ・「学校のまわり」[p.8-17](#) は、生活科のまち探検の成果を活用するようにしました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-87	小学校	社会	社会	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 305	新編 新しい社会 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色
1

資質・能力を確かに育てる教科書

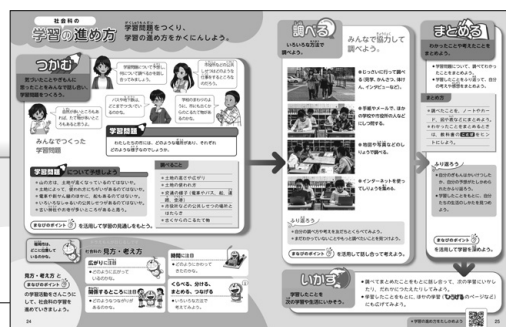
1 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。

学習指導要領の教科目標には、「課題を追究したり解決したりする活動」と明記されており、問題解決的な学習が重視されています。

見開きごとの本時の「めあて」や「学習問題」をはっきりと見やすく示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。

p.24-25「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を説明しています。

➡ p.24-25 学習の進め方



つかむ

事故や事件の現場の様子の写真やグラフなどを見て気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。

➡ p.104

調べる

なぜ、事故が起きたときに、さまざまな人がすぐに関与できるのでしょうか。

➡ p.106

まとめる

調べたことをもとに、事故や事件から暮らしを守るためにはたかについてまとめましょう。

➡ p.112

いかす

わたしたちのくらしを守るために、自分たちにできることを考えてみましょう。

➡ p.114

2 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

学習指導要領の教科目標には、「社会的な見方・考え方を働かせる」とことが明記されています。

教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）の合わせて四種類の囲みを使い分けています。

交通きかんが
集まっているのは、
どのあたりかな。



空間

↑ p.31

昔とくらべて、
どのようなところが
かわってきたのかな。



時間

↑ p.120

どのような人たちが
まちの安全を
守ってくれて
いるのかな。



相互関係

↑ p.89

二つのたんけん
コースをくらべると、
どのようなことが言えるかな。



方法 (考え方)

↑ p.16

3 「まなびのポイント」の学習活動をもとに、「主体的・対話的で深い学び」を進めることができます。

各見開きに、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」として例示しました。

「つかむ」段階には「主体的」な学習活動を中心に、「調べる」段階には「対話的」な学習活動を中心に、「まとめる」段階には「(深く)考える」学習活動を中心に例示することで、小単元を通して「主体的・対話的で深い学び」につながるようにしています。

まなびのポイント

●これまでの学習をもとに話し合い、学習問題についてまとめよう。

●これまでの学習を生かして、あまおうをせんでんするキャッチコピーを考えよう。

まなびのポイント

●あまおうづくりについて、知りたいことを出し合おう。

●学習問題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

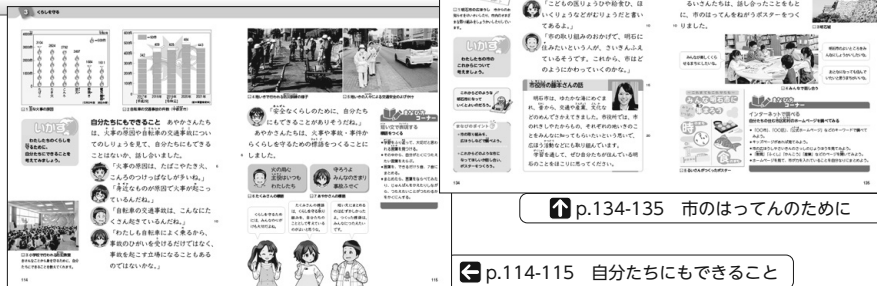
↑ p.44

➡ p.52

4 「選択・判断」したり社会的な事柄に参画・提案したりする場面(学習段階「いかす」)を設けています。

主に各単元の終わりに学習段階「いかす」を設置し、学習をふり返って自分たちにできることを考える場面を設けました。

学習指導要領で「自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」とされる「地域の安全を守る働き」の学習では、「いかす」学習段階(p.114-115)で自分たちにできることを考え、標語をつくる場面を掲載しました。



特色 2

子供の学びを広げる教科書

1 多様なQRコンテンツで子供の学びを広げます。

第3学年では40以上のQRコンテンツを収録し、該当ページに二次元コードを配置しました。

教科書の該当ページから二次元コードを読み取ることで、導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。

p.41

もくじや該当ページの二次元コードからQRコンテンツにアクセスできます。

・学習のはじめに見てみよう

多様な QR コンテンツ

導入動画 p.41 「学習のはじめに見てみよう (はたらく人とわたしたちの暮らし)」

クイズ p.15 「地図記号わかるかな？」

まなび方の解説動画 p.43 「ぼうグラフを読み取る」

ワークシート p.23 「学習計画ワークシート」

ワークシート p.37 「まとめるワークシート」

2 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

p.41

資料には、見開きごとに通し番号を付け、判別しやすくしています。

5 スーパーマーケットではたらく人

親しみやすい児童キャラクターがドラえもんとともに学習をナビゲートします。



3 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

様々な仕事に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

第3学年では、19人が掲載されています。多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

p.46

あまおう農家の久保さんの話

家族で、手間をかけて、あまおうを大切に育てています。あまおうづくりは作業のおくれがゆるぎません。しっかりと計画を立てて、早めに作業を進めることが大切です。とくに、3月から4月は同時にたくさん作業をするので、おくれないうちから、注意がひつようです。西区のあたりは、日当たりがよく、水はけのよい土地が広がっています。冬でもひかてきあたたく、あまおうをつくるのにてきしています。



交番の田谷さんの話

交番の前でけいかい(立番)をしたり、パトロールをしたりして、ふだんから、地いきの様子を気をつけて見ようとしています。地いきで事故や事件が起きたときには、すぐに現場にかけつけます。安全な生活を守るためには、みなさんの協力もかせません。たとえば、交通事故をへらすためには、道路交通法などの法やきまりを守ることが大切です。道路を歩くときや自転車で乗るときには、信号やひょうしきをきちんと守ることなどを、一人ひとりに心がけてほしいです。

p.109

4 「まとめる」場面では多様な表現活動を提示しています。

思考力や表現力を高めることができるように、また、地域や学校の実態に応じて学習できるように、「まとめる」段階では多様な表現活動を提示しました。



p.132-133 市のうつりかわりをまとめてみよう



p.83 スーパーマーケット新聞

特色 3

授業づくりをサポートする教科書

1 教科書紙面の基本的なつくりを示した「この教科書のつくりを見てみよう」と問題解決的な学習の流れがわかる「学習の進め方」

教科書紙面の基本的なつくりを一目でわかりやすく示した p.2-3「この教科書のつくりを見てみよう」や、問題解決的な学習の流れを児童にも教師にもわかりやすく示した p.24-25「学習の進め方」は、日々の授業づくりにも役立ちます。

p.2-3 この教科書のつくりを見てみよう



2 基礎・基本をおさえ、学習のまとめで活用できる「ことば」

見開きのキーワードを「ことば」として提示し、学習のまとめで活用できるようにしています。また、「ことば」の欄には、見開きの学習内容をふまえた説明文を付し、振り返って学習のまとめでも活用できるようにすることで、学習の基礎・基本が定着できるようにしています。

ことば

公共しせつ 学校や市役所、じどう館や公園など、みんなのためにつくられたたて物や場所を公共しせつといいます。公共しせつは、みんなが使う場所なので、大切にしようするひつようがあります。

p.13

ことば

法やきまり たとえば、交通にかかわる法やきまりは、安心して毎日を送るためにひつようなものの一つです。より安全な生活のために、法やきまりをみんなで考え、大切にしていくなつ力がかかせません。

p.109

3 学習の技能や方法を示した「まなび方コーナー」

「まなび方コーナー」を随所に掲載し、学習場面に応じた学び方を具体的に示しています。系統的に学習技能を身に付けることもできます。

まなび方コーナー

動画しりょうの見方
動画を見て学習に生かす

- 動画しりょうを通して見て、どのようなふうなのかくにくする。
- もう一度動画しりょうを見る。大事なじょうほうだと思つところで一時ていして、ぎもんと思つたことや調べてみたいことをメモしながら見るとよい。

p.89 動画しりょうの見方

まなび方コーナー

年表をつくる
年表のつくり方

- いちばん上に横じくをつくり、左から右に古いじゆんにならべ、右のはしを今にする。
- 元号を使って、何年ごろかを書きこむ。
- 調べてきたことごとくにへんかがわかるようにまとめる。

p.132 年表をつくる

まなび方コーナー

社会科の学習のために大切な、「まなび方」をしょうがいするコーナーです。

見る・聞く・ふれる

- 見学のしかた……47
- 見学の計画を立てる……57
- しつものしかた……67
- 予想する……71
- 調べる手がかりをさがす……77
- 動画しりょうの見方……89
- しせつを見学する……94
- インタビューのしかた……123

はくぶつ館の見学のしかた……130

インターネットで調べる……135

読み取る

- 地図を読み取る……15
- さくいんを読み取る……21
- ぼうグラフを読み取る……43
- イラストを読み取る……91
- 図を読み取る……97
- ふく数のグラフを読み取る……105

表す・つたえる

- せんでんポスターのつくりかた……38
- キャッチコピーをつくる……53
- 話し合いのしかた……65
- 新聞にまとめる……82
- 短い文で表現する……115
- 年表をつくる……132

p.3 「まなび方コーナー」一覧

観点別特色の一覧

教育基本法の遵守	・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。全体 ・第2号については、実際の人に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の想いや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。 ・第3号については、「いかす」の学習段階で自分たちにできることや、他者に発信する活動を位置付け、社会参画の基礎を培うことができましたようにしました。
学習指導要領の教科の目標との関連（全体）	・小学校学習指導要領（社会科）に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。全体 ・「見方・考え方」の囲みを設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。全体 ・小単元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしています。全体 ・様々な仕事や活動を通じ、実社会に参画する人の話を「〇〇さんの話」で提示して、その想いや願いを共感的に理解できるようにするとともに、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにしました。全体
資質・能力への対応	・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しています。 ・（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」）⇒以下別掲 ・（「学びに向かう力、人間性等」）「市の様子」の小単元では、古くから残る建物など、市の良さに気づき、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができるようにしました。「市のうつりかわり」の単元では、「いかす」場面で、自分たちの市の将来・発展について考えることで、地域社会の一員としての自覚をもつことができるようにしました。
社会的な見方・考え方	・見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）で挿絵を変え、どのような視点や方法を働かせればよいかが明確にわかるようにしています。 ・巻末に特設ページ（「3年生で学んだことをふり返ろう」）を設け、学習した内容と学びの「方法」を振り返ることができるようにしました。
基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮	・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。（p.30「交通」、p.76「産地」、p.97「通信指令室」など） ・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。p.140 ・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。p.43「ぼうグラフを読み取る」、p.82「新聞にまとめる」、p.89「動画しりょうの見方」等
思考力・判断力・表現力	・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。 ・「いかす」場面では、自分たちにできることを考えて標語をつくったり、市の将来について考えてポスターをつくったりする活動を提示しました。
学習方法・授業展開への配慮	・「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」で例示し、地域の実態を生かした学習指導に应用転移できるようにしました。（p.56 p.60 p.64 など） ・話し合いの場面を重視し、適所でイラストで示したほか、まとめる場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。（p.36 など） ・第3学年で学習した内容や学習方法を振り返ることができるよう、巻末に特設ページ（p.138「3年生で学んだことをふり返ろう」）を設けました。
問題解決的な学習の充実	・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階（つかむ、調べる、まとめる、いかす）を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開を促しました。（第2単元 p.41 単元の「めあて」 p.42 「つかむ」 p.46 「調べる」 p.52 「まとめる」 p.86 単元の「いかす」）
地図帳の活用	・地図帳が第3学年から使用されることをふまえ、地図帳の活用をうながす箇所 p.3「教科書といっしょに地図帳も使おう！」や、作業指示の箇所 p.77「品物の産地調べ」を設けました。 ・「まなび方コーナー」に地図帳の索引の引き方を設けました。p.21「さくいんを読み取る」

今日的な課題に関する内容	・学年の学習内容に応じて、今日的な課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災…〔p.98-99「ひなん場所」〕、法…〔p.109「法やきまり」〕、環境…〔p.81「リサイクル」〕、キャリア…〔p.40-87「はたらく人とわたしたちのくらし」〕など。
他教科との関連	・他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容を関連するページの欄外に示し、関連を図ることができるようにしました。 〔p.43 算数「ぼうグラフの読み取り方」「数の位と表し方」〕〔p.77 外国語「世界のさまざまな国と国旗」〕など
人権への配慮	・人権にかかわる社会の働きや人々の取り組みを取り上げた〔p.81〕ほか、大型イラスト中の点字ブロックの扱いなど、基本的人権を尊重する知識と態度が身につくようにしました。 ・キャラクターやイラストに描かれる人物などは、性別による偏りがないようにし、多様な人物を掲載しました。
印刷・造本の工夫 (親しみやすさ、使いやすさなど)	・資料性、視覚的効果が高く、かつランドセルや机、道具箱への収納にも十分配慮した幅広の判型を用い、見やすく印象的で、資料提示効果の高い紙面構成に努めました。 ・軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用し、挿絵、写真等の印刷は鮮明で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、確実な資料の読み取りができるようにしました。
印刷・製本の配慮	・環境に配慮し、再生紙、植物油インキで印刷しています。長期の使用や持ち運びに耐えるよう、表紙には汚れにくく、防水効果、強度の高い加工（P P 加工）を施すとともに、堅牢な針金綴じで製本しました。
書体・大きさ	・筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また、読みやすさを追究し、適所にユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を用いました。
表記・表現	・国語科との関連や児童の発達に十分配慮し、当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また、一文を短く、全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方、必要な場面では、学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。
特別支援教育にかかわる適切な配慮	・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて専門家による検証を行っています。 ・だれも見やすく、わかりやすい落ち着いたレイアウトに努め、図表などは、色調だけでなく、必要に応じて模様や形により識別できるようにしました。 ・「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です。

2. 対照表

配当時間数計：70

単元名・小単元名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
1 わたしのまち みんなのまち	(1) 身近な地域や市区町村の様子		p.6-39	16
○ 学校のまわり	「身近な地域の様子」	(1) ア - (ア) (イ)、イ - (ア)	p.8-17	5
1 市の様子	「市区町村の様子」	(1) ア - (ア) (イ)、イ - (ア)	p.20-39	10
2 はたらく人とわたしたちのくらし	(2) 地域に見られる生産や販売の仕事		p.40-87	26
選択 1 農家の仕事	「生産の仕事」	(2) ア - (ア) (ウ)、イ - (ア)	p.42-53	(10)
1 工場の仕事	「生産の仕事」	(2) ア - (ア) (ウ)、イ - (ア)	p.54-65	(10)
2 店ではたらく人	「販売の仕事」	(2) ア - (イ) (ウ)、イ - (イ)	p.66-87	15
3 くらしを守る	(3) 地域の安全を守る働き		p.88-115	16
1 火事からくらしを守る	「火災」	(3) ア - (ア) (イ)、イ - (ア)	p.90-103	8
2 事故や事件からくらしを守る	「事故」	(3) ア - (ア) (イ)、イ - (ア)	p.104-115	7
4 市のうつりかわり	(4) 市の様子の移り変わり		p.116-137	12
1 市の様子と人々のくらしのうつりかわり	「市や人々の生活の様子」	(4) ア - (ア) (イ)、イ - (ア)	p.118-135	11